

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	相馬 文子	電話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3166	事務事業名称	母子(父子)寡婦等福祉事業				短縮コード	経常	3166	臨時	3861	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	03	母子福祉費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例 児童扶養手当法 八千代市ひとり親家庭等日常生活支援事業要綱 八千代市母子家庭職業訓練促進給付金支給要綱								
事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
児童扶養手当は平成14年8月1日から地方分権一括法により、市へ権限委譲された事務であり、ひとり親家庭等医療費等助成は昭和56年に母子家庭の経済的負担の軽減を目的に市単独事業として開始した。 その他の事業は、平成15年母子家庭の母の就業に支援に関する特別措置法により事業を開始したものである。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	01	第1章健康福祉都市をめざして					
離婚率の増加等に伴い、母子家庭等のひとり親家庭は増加傾向にあり、日常生活、子育て、経済的な支援、また就業等の支援を必要とする状況にある。また、平成22年度より、児童扶養手当の対象に父子家庭が加えられた。 今後も母子家庭等ひとり親家庭は増加傾向が見込まれ、事業については継続を要する。					大項目(節)	02	第2節社会福祉					
					中項目	02	2. ひとり親家庭福祉					
					小項目	01	(1)相談・支援体制の充実					
						02	(2)自立の促進					
					細項目	02	②子育て・日常生活支援の充実					
99	自立の促進(細項目なし)											
実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	母子(父子)寡婦等						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 申請を受け各種手当の支給 ①児童扶養手当の支給 各種助成の実施 ②ひとり親家庭等医療費等助成③母子家庭自立支援教育訓練給付金の助成④母子家庭高等職業訓練給付金の助成 ※平成24年度に計画していること: 平成23年度と同様						
意図 (何を狙っているのか)	経済的な負担や不安を軽減し、母子(父子)寡婦等の自立の促進を図る						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	22年度		23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	母子(父子)寡婦世帯数	世帯	1,402	1,500	1,549	1,550
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	各種手当申請受理件数	件	2,743	3,000	2,883	3,000
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	児童扶養手当を申請して受給できた割合	%	90	90	90	90
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3166	事務事業名称	母子（父子）寡婦等福祉事業		所属名	子育て支援課	
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績		計画		計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	159,518	176,704	172,074	176,502
		県	千円	12,443	11,419	13,909	11,981
		地方債	千円				
		一般財源	千円	330,121	354,833	355,328	359,939
		その他	千円				
主な事業費の内訳		扶助費 498,162千円		扶助費 538,346千円		扶助費536,072千円	
人件費(B)		千円	33,749.4	33,270.9	32,880.6	32,880.6	32,880.6
トータルコスト(A)+(B)		千円	535,831.4	576,226.9	574,191.6	581,302.6	581,302.6

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項	評価区分	理由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	母子(父子)寡婦福祉事業を実施することにより、経済的支援等により自立がはかられ、上位の施策「相談・支援体制の充実」、「自立の促進」の充実、推進になっている。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	経済的な負担や不安を軽減し、母子（父子）寡婦等家庭の自立の促進を継続して図る必要があるため。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	公平性が保てなくなる恐れがあるため、民営化は適当でない。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。			
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	市の単独事業はなく、国・県の規定に沿ったサービスを提供しており、また、事務については、一定のIT化も進み、これ以上の有効性・効率性の向上の可能性はない。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				2
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	3166	事務事業名称	母子（父子）寡婦等福祉事業			所属名	子育て支援課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			ひとり親家庭の増加傾向は続いており、今後も経済的支援及び自立支援の事業の充実が必要である。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	対象者の増加に伴い経費の増加が見込まれる。	
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																									
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
制度の周知を図るようにとの要望。	

所属長コメント	ひとり親家庭の増加傾向は続いているため今後も事業の充実が必要である。支援のあり方も経済的支援から自立支援へ移行しており、一層の推進が求められている。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。